

# 令和6年度 能登町立鵜川小学校 学力向上プラン（後期）

年間のゴールの姿

友だちと考えを共有し、自分の考えを適切に表現できる

## 1 授業づくり

### (1) 現状と課題（R）

児童生徒の課題	現状と要因・根拠となるデータ
題意に沿って、適切に説明したり、順序良く説明を書き表したりすることができない。	<p>〔現状と要因〕</p> <p>○児童は深めタイムで伝え合ったり、キーワードを使って表現したりできたと感じている。 △キーワードを使って自分の考えを適切に表現する力にまだ課題がある。 →自分の考えを伝える場は設定できているが、適切な表現に生かすことができていない。 →キーワードの提示の捉えが曖昧だったため適切な表現につながらなかった。</p> <p>〔根拠となるデータ〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前期児童アンケート「深めタイムで自分の考えを伝えることができた」等（88%）</li> <li>・前期ノート検証・研究授業・マネジメントウィーク：「自分の考えを適切に表現している」（58%）</li> <li>・前期診断テスト（40%） R6 学力調査：4年県8(2)（0%）6年全国4(3)（10%）</li> </ul>

### (2) 計画と実行（P・D）

具体的取組	評価項目	評価
<p>【考えを伝え合う場の設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・必ず1回は自分の考えをアウトプットさせる</li> </ul> <p>【適切に表現するための活動の設定】 ワンステップ</p> <p>例)・キーワード(フレーズの場合もある)の提示・共有する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ベスト説明を共有する</li> <li>・式と図、言葉を線でつなぐ・囲む等関係づけて説明する</li> <li>・話し合いの視点をもたせて交流させる (児童の実態に合わせて工夫する)</li> </ul> <p>【書く場の設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な表現で書く場を設定する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果検証 「自分の考えを適切に表現している」（ノート）70%</li> <li>・実施検証 「考えを伝え合う場を設定している」100% 「適切に表現するための活動を設定している」100%</li> <li>・研究授業 「自分の考えを適切に表現している」70%</li> <li>・診断テスト 「自分の考えを適切に表現している」70%</li> </ul>	<p>76.4%</p> <p>100%</p> <p>100%</p> <p>53%</p> <p>58.2%</p>

### (3) 検証と改善（C・A）

月	評価方法（誰が、いつ）	結果	取組の成果○・課題▲
10	<input type="checkbox"/> マネジメントウィーク（管3週） <input type="checkbox"/> ノート検証（担4週） <input type="checkbox"/> 診断テスト（担5週）	視点1（68%）視点2（72%）視点3（82%） 1年（40%）2年（66%）3年（75%）4年（66%）5年（80%）6年（60%） <b>全体（65%）</b> 1年（53%）2年（50%）3年（52%）4年（17%）5年（50%）6年（40%） <b>全体（43%）</b>	○ペア・グループでの活動が表現する意欲の向上につながった。▲適切な表現
11	<input type="checkbox"/> 参観シート（3・4年） <input type="checkbox"/> ノート検証（担4週）	3年視点1(100%)視点2(83%)視点3(42%) 4年視点1(100%)視点2(66%)視点3(66%) 1年(100%)2年(66%)3年(83%)4年(100%)5年(70%)6年(100%) <b>全体(86%)</b>	○ノートの表現が向上 ▲授業のタイムマネジメント
12	<input type="checkbox"/> 参観シート（2年） <input type="checkbox"/> ノート検証（担2週） <input type="checkbox"/> 診断テスト(学担3週) <input type="checkbox"/> 児童アンケート(担3週)	視点1（100%）視点2（33%）視点3(33%) 1年(80%)2年(100%)3年(92%)4年(67%)5年(70%)6年(80%) <b>全体（81%）</b> 1年(100%)2年(100%)3年(42%)4年(50%)5年(55%)6年(88%) <b>全体（72.5%）</b> 視点1（95.3%）視点3（88.4%）話す聞く(100%)	○アウトプットの場を意識的に設定できたことで児童も表現できたと感じている。 ▲求める表現にせまるために引き出す発問を吟味する。
1	<input type="checkbox"/> 参観シート（1年） <input type="checkbox"/> ノート検証（担4週）	視点1（40%）視点2（60%）視点3(60%) 1年(80%)2年(100%)3年(92%)4年(66%)5年(80%)6年(50%) <b>全体（78%）</b>	○授業整理会で表現するための活動について協議できた。
2	<input type="checkbox"/> マネジメントウィーク（管3週） <input type="checkbox"/> ノート検証（担4週） <input type="checkbox"/> 診断テスト（担5週）	視点1（85%）視点2（65%）視点3（41%） 1年(100%)2年(66%)3年(91%)4年(66%)5年(50%)6年(60%) <b>全体（72.1%）</b> 1年(95%)2年(0%)3年(66%)4年(66%)5年(60%)6年(70%) <b>全体（59%）</b>	▲1時間の中でねらいの達成やつけたい力が身についたかの見とりまでを確実に行う。
3	<input type="checkbox"/> 児童アンケート(担3週) <input type="checkbox"/> 教師アンケート(担3週)	視点1（98.6%）視点3（97.6%）話す聞く(97.7%) 視点1（100%）視点2（100%）視点3(83.3%)話す聞く(91.7%)	○児童・教師ともに目標達成できた

### 取組の成果○・課題▲

○伝え合う場や表現するための活動を設定し、友だちと考えを共有することは概ねできた。  
▲自分の考えを適切に表現する力には課題が残った。適切に表現するための活動を吟味し検証することや、適用問題を確実に実施し、ねらいの達成を見とって授業に生かしていくことができなかった。

## 2 基盤づくり

目標	具体的取組	評価
相手意識をもって反応しながら話す・聞く	<p>話し方・きき方の指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手を見て（話し方・きき方あいうえお…あ）</li> <li>・～ですよね。どうですか？</li> <li>・反応しながらきく。</li> </ul>	○